

土木技術者のためのプロフェッショナルの姿勢と視点

正誤表

※令和2年7月16日付正誤表のNo. 20を修正。

令和2年12月23日

No.	頁	行	誤	正
1	p.7	断面図	ふとん籠工の寸法:A=1.0×0.6 A=1.0×1.0	A=1.0m×0.6m A=1.0m×1.0m (著者加筆)
2	p.16	図 I 2.3	*左端の枠内が空欄	調査・計画
3	p.21	下2、4行目	提案技術	技術提案
4	p.32	参考文献 1)、2)、3)、4)	(公益社団法人)	(公社)
5	p.37	11行目	防げるからである	防げるのである
6	p.59	7行目	土木系学科の・・・1年生でも、	建築系学科の・・・1年生では、
7		本文下4行目	期待したことは、	期待したとすれば、
8	p.64	本文下4行目	である。	でもある。
9	p.66	表 I 9.1	(益社) 土木学会	(公社) 土木学会
10			(益社) 日本コンクリート工学会	(公社) 日本コンクリート工学会
11	p.71	下2行目	技術士会	日本技術士会
12	p.73	11行目	魅力を引く	関心を引く
13	p.74	本文下3行目	学生自らの	学生あるいは社会人として、自らの
14		参考文献	1)、4)、5) (公益社団法人) 2) (一般社団法人)	1)、4)、5) (公社) 2) (一社)
15	p.87	下1行目	「デザイン無くして、建築なし。」と言われるようであるが、	「美しくなければ、建築ではない。」と言われるのに対して、
16	p.95	下4行目	社会基盤インフラ	社会基盤施設
17	p.103	1行目	マネージャー(管理)・・・マネージャー(広義)	マネージャー(管理:広義)・・・マネージャー(管理:広義)
18		5行目	マネージャー(狭義)、プランナー	マネージャー(管理:狭義)、プランナー
19		7)	(公益社団法人)	(公社)

No.	頁	行	誤	正
20	p.114	5、6行目	性能5・・・性能2~4・・・危険度B・・・	性能5、4・・・性能3、2・・・危険度A、B・・・
21	p.115	6行目	影響を 与 えると	影響を 考 えると
22	p.127	13)、16)	(公益社団法人)	(公社)
23	p.128	下5、6行目	直線 (真ん中の2本の実線)	2本の直線 (赤色)
24	p.129	7行目	上限 (破線)	上限の 直線 (青色)
25		式II 2.2.2	0.04mm ≦	0.05mm ≦
26		式II 2.2.3	≦ 1.5mm	≦ 2.0mm
27	p.136	9行目	ケーブルの よれ	ケーブルの よじれ
28	p.142	2行目	機能喪失 リスク	性能喪失 リスク
29	p.154	下8行目	実行 可能レベルとして、 実行 が	実現 可能レベルとして、 実現 が
30		下2行目	② 実行 不可能	② 実現 の不可能
31	p.155	下2行目	Y字状の静穏域	Y字状の 中 の静穏域
32	p.175	9行目	幅広く 行 われる	幅広く 使用 される
33	p.184	図II 8.1 右縦軸	α_g	α
34		図II 8.1 図右下	70	80
35	p.187	2、6行目	せん断応力 L	せん断応力 比L
36	p.212	下9行目	各構造物の 特筆	各構造物の 特徴
37		下7行目	対象として、 ハード の	対象とした ハード の
38	p.223	表3 *3	石 罪 擁壁	石 積 擁壁
39	p.229	下2行目	LEARNED	OBTAINED
40		下1行目	SANDF-D-11-00164, 2012, 8	Volume54, Issue4, August2014, Pages523-543
41	p.233	3行目	Re s istered	Re g istered
42	奥付	奥付	(一財) 国土開発技術研究センター	(財) 国土開発技術研究センター
43	奥付	奥付	(一財) 日本建設情報総合センター	(財) 日本建設情報総合センター